音声認識ソフト

Windows8 対応

AmiVoice® SP2

USBマイク付

アミボイスエスピーツー
Speech Personal

あなたの声が文字（テキスト）になる

IC レコーダーにはこのソフト
書起しに最適

日本製だから安心サポート!

お客様から数多く寄せられた機能を搭載しました。
日本の音声認識ソフトメーカーだから
お客様の声を大切にしています。

製品ガイド

2年ぶりのバージョンアップ

お客様から数多く寄せられた機能を搭載しました。
日本の音声認識ソフトメーカーだから、お客様の声を大切にしています。

新機能：認識率を向上させる機能

ポイント

過去に自分が書いた文章から
辞書を学習できます。

ポイント：操作性を向上させる機能

ポイント

音声コマンドの作成可能。
ハンズフリーで入力できます。

ポイント：音声ファイルの書き起こし時間を短縮させる機能

ポイント

音声認識結果の編集ソフト
「書起しエディター」搭載

セールスポイント

他社製品との違い

簡単操作

★PC にソフトウェアをインストールするだけ

★事前の声の登録不要

・マイクの環境設定時も声の登録不要

・音声ファイルの文字化にも声の登録不要

リアルタイム認識

★サクサク動作

★発話と同時に認識結果を表示

日本製だから安心サポート

★機能改善モジュール無料ダウンロード配信中

★日本人の専任スタッフによる電話サポート

★充実した FAQ

★56ページカラーマニュアル付

★お客様の声（活用事例）を随時公開中

あなたの声がそのまま文字になる

こんな方に最適

- キーボード入力が苦手な方
- 大量の文書を入力されている方
- キーボード入力にともなう身体的疲労を軽減されたい方
- 頭に浮かんだアイデアを、メモ代わりに文字化したい方
- 録音した音声を復唱して、講義内容や会議録、読書の要点などの入力に利用したい方
- PCが持ち込めない場所で、外部録音機器に録音後、書き起こしをしたい方
- 聴覚障害者の方への情報補助ツールとして活用されたい方

音声認識ソフト *AmiVoice® SP2* の特長

すぐ使える！声の登録不要

使用する人の声や話し方の特長を事前に学習させる必要がない不特定話者対応。

PCにソフトウェアをインストールするだけで、だれでもすぐに音声入力することができます。

使うほど認識精度が向上する学習機能

ユーザーの発話を自動学習して、音声認識精度を向上させる音響学習機能です。また、候補選択より修正したものを自動で学習する候補学習機能も搭載。使えば使うほど認識精度が向上します。

同音異義語も簡単修正

正しく認識されない単語にカーソルをあてるだけで、他の変換候補がリストアップされ、選択するだけで簡単に修正することができます。

使いやすくカスタマイズ可能

ユーザーが頻繁に使用する固有名詞や専門用語などの単語を簡単に登録できます。

新機能

認識率を向上させる機能

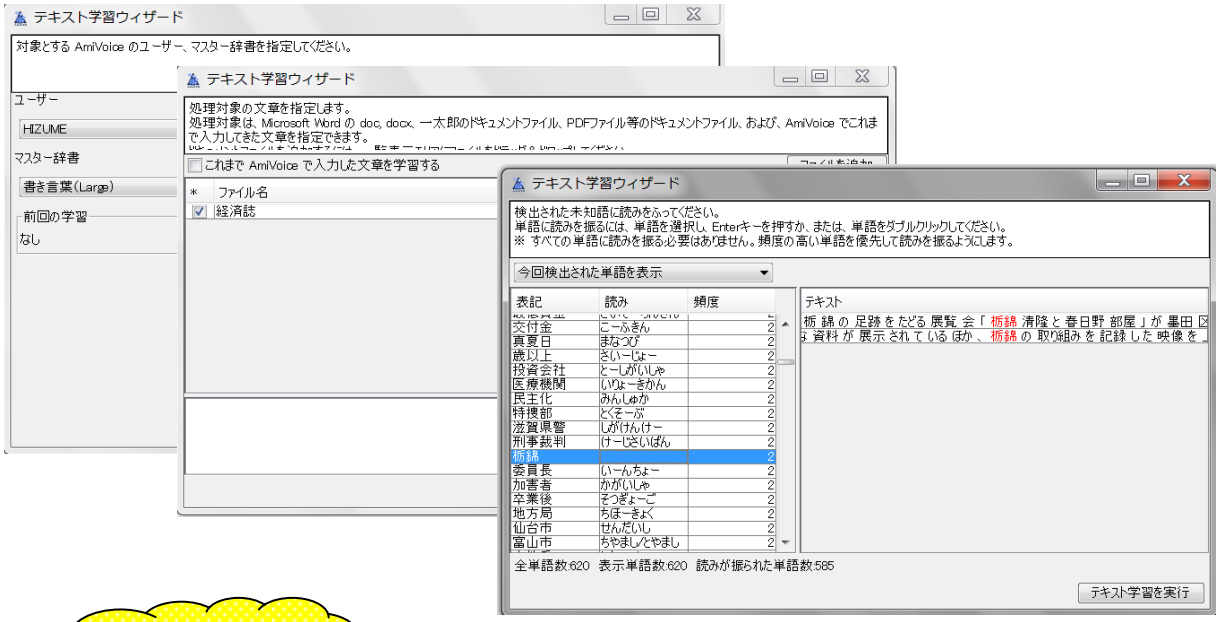
ここが違う

「テキスト学習ウィザード」（テキストからの一括学習機能）

★テキストデータなどからマスター辞書に搭載されていない単語を検出してユーザー辞書に登録する機能

★前後の文脈情報（文章スタイル）も反映可能

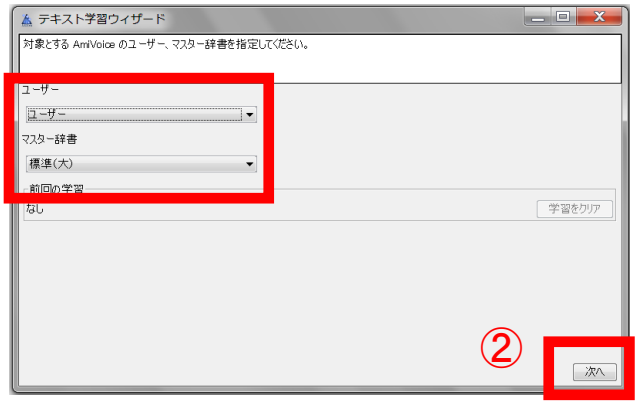
対応ファイル　：　テキスト　/ MS Word / MS Excel /　一太郎　/ PDF / CSV / HTML



メリット

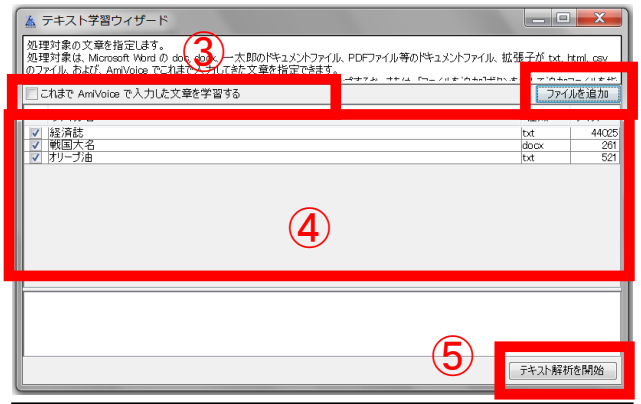
使用用途に合わせて、一括学習機能により、自分の文章スタイルを反映させて、辞書を鍛え上げることにより認識率を向上させることができます。

テキスト学習ウィザード操作方法



①AmiVoice バー上で、マウスを右クリックして、メニューの「テキスト学習ウィザード」を選択してください。

②ユーザー、マスター辞書を選択して、「次へ」を選択してください。

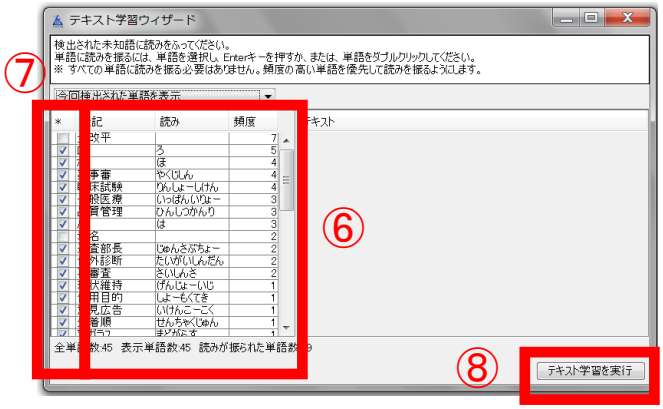


③これまで AmiVoice で入力した文章（転送履歴）から学習します。

④解析したい文書をドラッグアンドドロップもしくは、メニューの「ファイルを追加」からファイルを指定して「開く」を選んでください。（消す場合はマウスの右クリック

⑤「テキスト解析を開始」ボタンを押してください。

※MS Word などを選ぶと、自動的にテキストデータに変換します。テキスト容量は最大 5MB（5,000,000 バイト）までです。



⑥リストの「読み」にひらがなで読みを入力します。入力したい単語をダブルクリックしてください。

⑦学習させてたくない単語はチェックを外してください。

⑧学習させる場合は「テキスト学習を実行」ボタンを押してください。

ポイント

追加でテキスト学習する場合、前回選んでいた文書ファイルは消さずに使用してください。

新機能

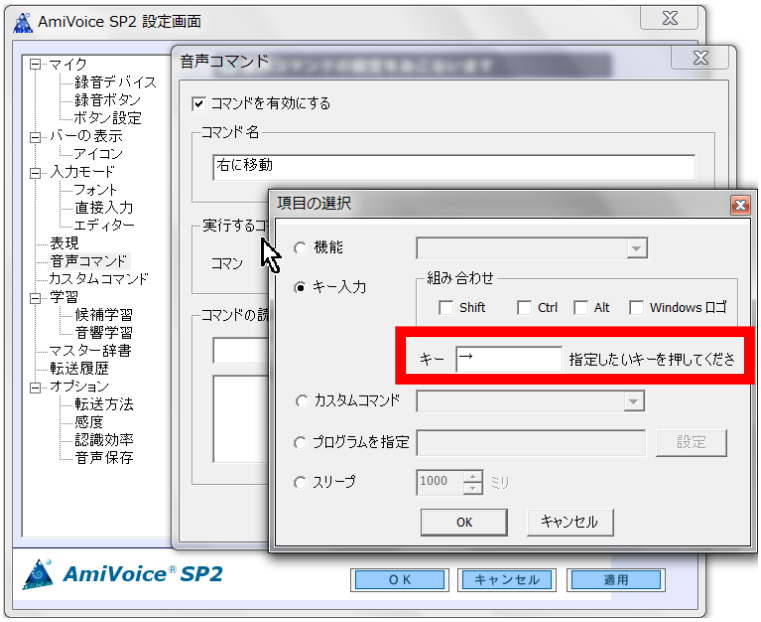
操作性を向上させる機能

ここが違う

「音声コマンドの作成」

★任意のキー入力、Ctrl キー、Shift キー、Alt キーなどと組み合わせて作成可能(例　Ctrl ＋ C　などのショートカットキー)

★外部アプリケーションプログラムの起動可能



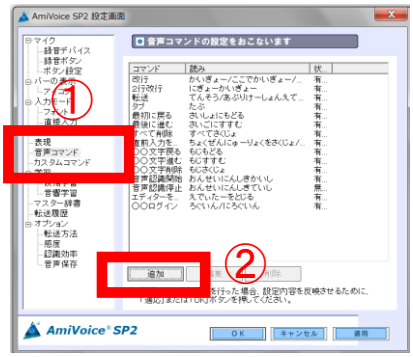
キー入力 / Ctrl ＋ / Alt ＋ / Shift ＋ / Ctrl ＋ / Alt ＋ などの組み合わせで、下記キーを指定可能です。

カーソルキー / ファンクションキー / アルファベット / 数字(0～9) / スペースキー/ Back Space / Tab / Enter / Insert / Delete / Home / End / PageUP / PageDown / PrintScreen / Shift / Ctrl / Alt / Esc

メリット

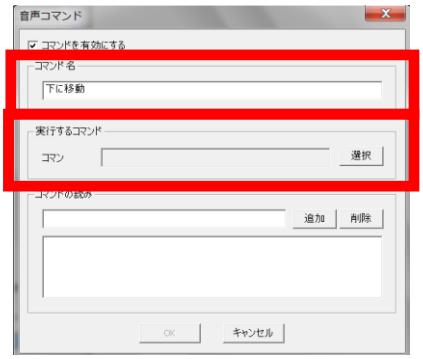
ハンズフリーで、アプリケーションに検査数値を入力するなど、操作性を向上させることができます。

音声コマンドの作成方法（例:「↓」を登録する場合）



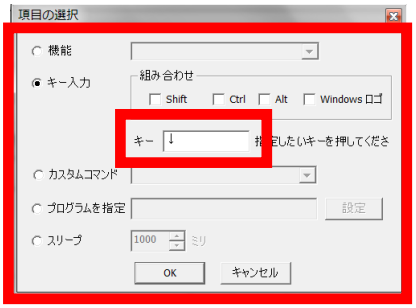
①AmiVoice バーの設定から、「音声コマンド」を選択してください。

②追加を選択してください。

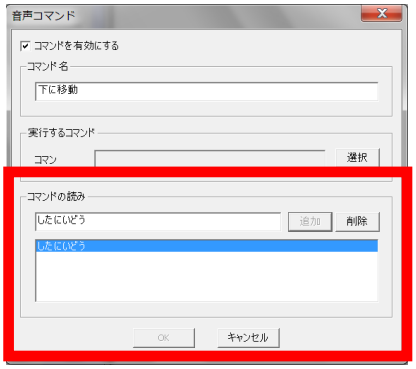


③音声コマンド画面でコマンド名に「下に移動」を入力してください。

④実行するコマンドの「選択」をクリニックしてください。



⑤項目の選択画面で、キー入力にチェックを入れ、キー欄にキーボードから「↓」を入力して、OK ボタンをクリックしてください。



⑥音声コマンド画面のコマンドの読みに、「したにいどう」を入力して、「追加」を選択して、OK ボタンをクリックしてください。

※カスタムコマンドは、複数のコマンドをまとめて一つの音声コマンドとして実行できます。

新機能

書起し時間を短縮させる機能

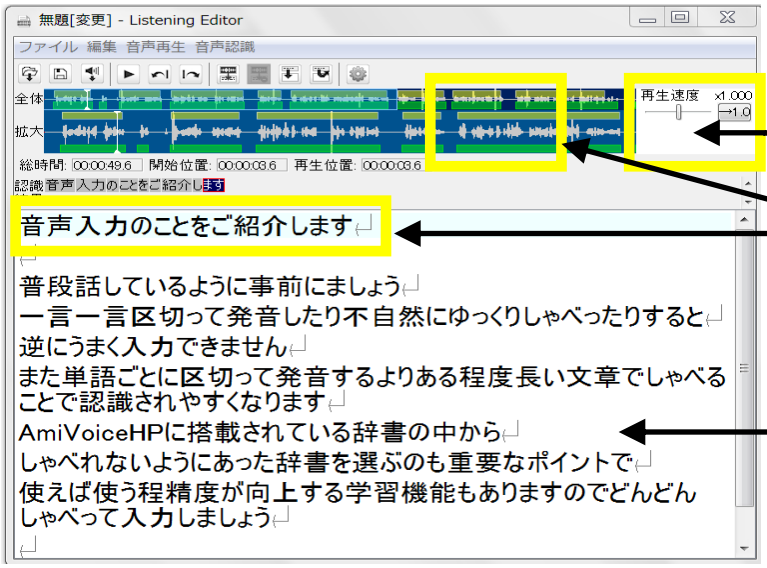
ここが違う

音声認識結果を編集するソフト「書起しエディター」

★録音した音声ファイルを聞きながら文章を書起すためのツール

★操作方法　再生/停止　「Ctrl ＋ Space キー」

巻き戻し「Ctrl ＋ ← キー」、早送り「Ctrl ＋ → キー」



再生速度調整

波形と認識結果が連動

エディター画面は音声入力または、キーボード入力

メリット

PC に音声ファイルを読み込ませると、音声ファイルの再生/停止はキーボードで操作ができ、数秒戻る、再生速度の調整などの機能もありますので、書起し時間の短縮につながります。

注意事項

■音声ファイルからの文字化について

個人の方が、メモ代わりに録音機器などに録音して、後で文字化する場面で活用する機能です。

・認識できる音声ファイル形式は、WMA、WAV、MP3 ファイルです。

・録音する際には、録音機器の口述モードに設定して録音してください。

また、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけてください。

・口元とマイクの距離が 5cm 以内で録音した音声で、はっきりとした音声であることが条件です。

・複数人数の会議、講演会、およびインタビューなどで、マイクの距離が遠い場合、認識することができません。

対象音声が、「クリアーでない」「丁寧な発話でない」などの理由で、

高い認識精度が期待できない場合

ポイント

録音した音声を聞きながら、付属のヘッドセットマイクに向かって復唱することで簡単に文字化できます。

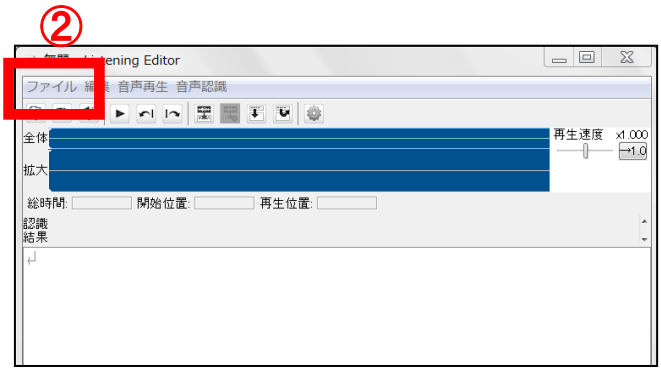
音声認識結果を編集するソフト「書起しエディター」

書起しエディターは録音した音声ファイルを聞きながら文章を書起こすためのツールです。

音声ファイル形式：WMA ファイル、WAV ファイル、MP3 ファイル

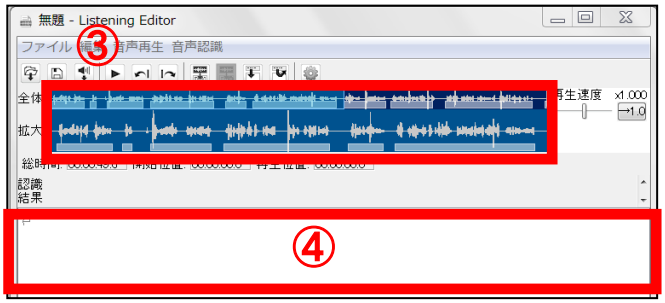
※WAV ファイル　16KHz 以上を推奨

※MP3 ファイル　192kbps を推奨



①ディスクトップのアイコン、AmiVoice バー上でマウスを右クリックして、メニューの「音声ファイルからの認識」を選択してください。

②ファイルから「音声ファイルを読み込む」で音声ファイルを読み込んで下さい。



③読み込んだ音声ファイルを波形で表示します。

④書起こした文章を表示します。

※エディター画面は音声入力、または、キーボード入力

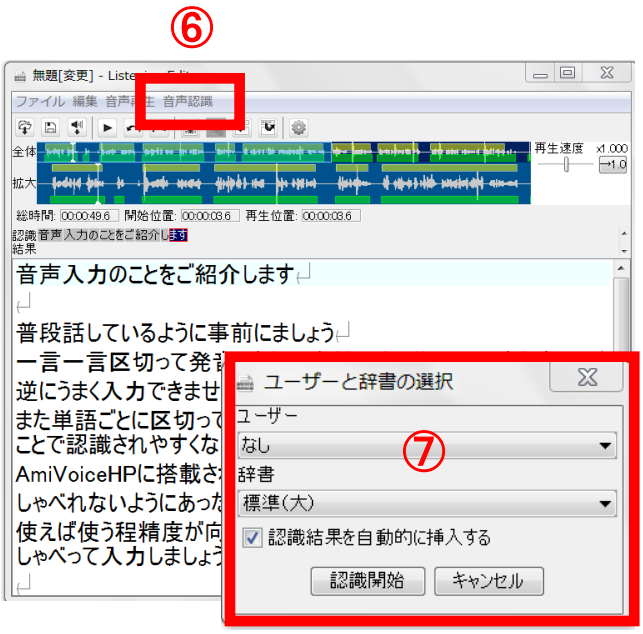
⑤音声ファイルの操作

再生/停止　「Ctrl ＋ Space キー」

巻き戻し　「Ctrl ＋ ← キー」

早送り　「Ctrl ＋ → キー」

音声認識結果を編集するソフト「書起しエディター」



⑥音声認識メニューから「音声認識」を選択します。

⑦使用するユーザーと音声認識辞書を選択して、「認識開始」を実行してください

※認識結果の文字のサイズは、「Ctrl キーとマウスのホイール」で変更できます。

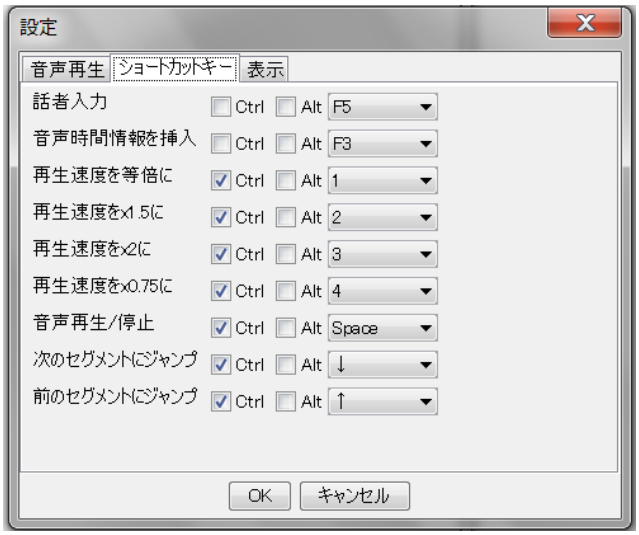
ポイント

■他社製品との違い■

認識結果の文字を削除しても元の音声データは消えません。

ユーザーは、個人の声の特徴も学習されています。音声ファイルに録音された音声が本人の声でない場合、認識率が落ちてしまう場合があります。その場合、新規に作成したユーザー、または、「なし」を選択してください。

各種機能をキーの組み合わせでショートカットキーに登録できます。



機能UP

★音声認識エンジンの強化

従来の音声認識エンジンをさらにレベルアップ。認識率向上！

★大規模語彙の音声認識辞書を採用。最新用語も追加！

（1）標準（小）
（2）標準（大）
} PC 本体のメモリ容量により選択してください

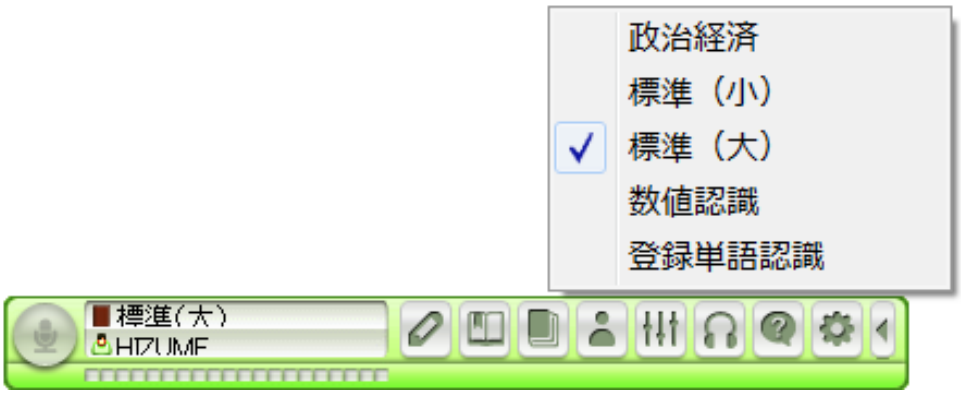
（3）政治経済（新聞の文章に適した辞書）

（4）数字認識（数字のみ認識）

（5）登録単語認識（登録した単語のみ認識）

★バーデザイン（ユーザインターフェース）の刷新

ユーザー様からのご要望を反映し、アイコンの追加/設定画面の見直しなど、操作性を向上させました。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

①単語登録　②ユーザー辞書ツール　③マスター辞書切替

④ユーザー選択ツール　⑤マイク音量　⑥音響学習

⑦ヘルプ　⑧設定

使うほど認識精度が向上する学習機能

★ユーザーの発話を自動学習して、音声認識精度を向上させる音響学習機能です。また、候補選択より修正したものを自動で学習する候補学習機能も搭載。使えば使うほど利便性が向上します。

★音響学習は、ユーザーの音声の特徴を自動的に学習して、音声入力がしやすくなる機能です。この機能を使い続けることで、だんだん正確に変換されるようになり、音声入力がよりスムーズに行えるようになります。

「ゲームで言う経験値がたまってレベルが上がる」という概念です。

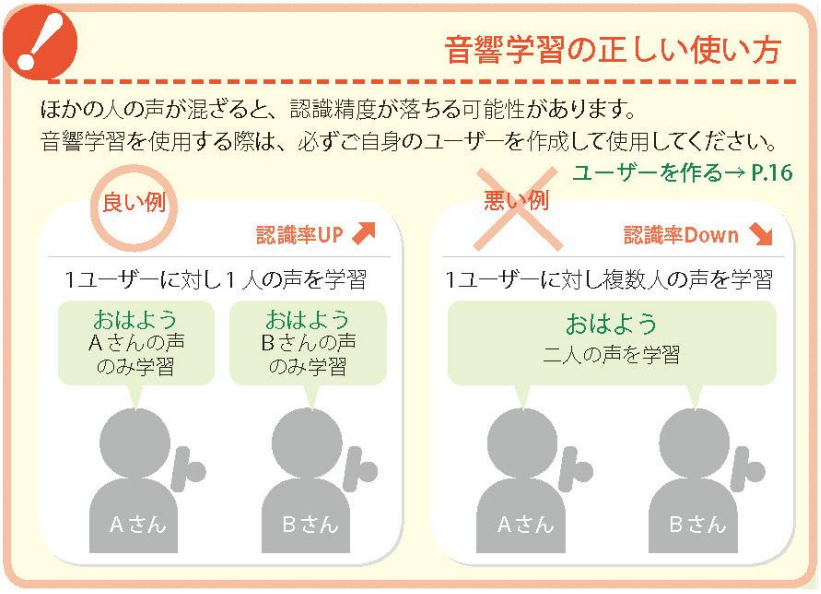
ゲームであれば、レベルが上がればより強いモンスターに勝てるようになりますが、***AmiVoice® SP2*** では認識しにくい発話を認識できるようになります。

音響学習のポイント

★本人の声だけを入力すること

★他の人の声が混ざると、認識精度が落ちる可能性があります。

★複数ユーザーで使用する場合は各ユーザーごとに登録



音声入力のコツ

発音は自然に！

普段話しているように、自然に話してください。

一語一語区切って発話したり、不自然にゆっくり発話すると、逆にうまく入力できません。また、抑揚をつけずにたんたんとお話しください。

単語よりも文章で！

単語ごとに区切るよりも、文章で話す方が認識されやすくなります。

また、ひとつの単語の途中で区切って発話してしまうと、誤変換の原因になります。

できるだけ長い文、少なくとも文節単位でお話しください。

「わたしに」と発話した場合、「私に」と認識します。

数字を認識したい場合、単位まで発話すると比較的認識しやすいです。

単に「に」と発話した場合、日本語の場合、漢字、ひらがな、カタカナ、数字と多岐にわたる言語体系ですので、思ったように認識できない場合がございます。

口元とマイクの距離が5cm 以内

口元とマイクの距離が5cm 以内で話しください。

固有名詞、専門用語はあらかじめ単語登録

2～3回発話して認識しない場合、よく使うと思われる単語は単語登録、そうでない場合は、キー入力してください。

キー入力した単語、文書を学習するためには、テキスト学習を活用ください。

マイクの正しい使い方

正しく装着する

ヘッドセットマイクを頭にかぶって使用する場合、マイク集音部分の前面が口の近くに位置するので、最高のパフォーマンスで、発話音声だけを録音することができます。

マイクに口を近づける

なるべくマイクとの距離が 5cm 以内になるように口を近づけてください。

口を近づけたほうが周囲のノイズの影響を受けにくく、より正確に入力できます。

マイクの間違った使い方

ヘッドセットマイクを手に持って使うと、口の位置がマイク集音部分からずれてしまいます。

また、首にかけて使うと、マイクと口の距離が変わりやすく、録音中の音量が一定になりません。 発話音声が正しく録音できないと、音声認識の精度が大幅に低下します。

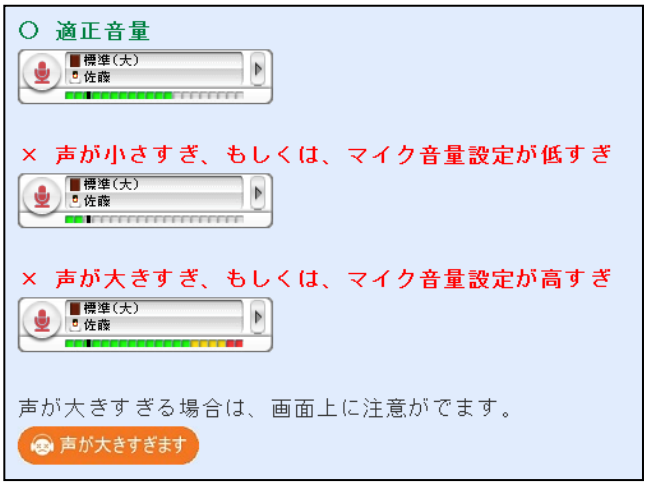
マイクのON/OFFについて

キーボードの右【SHIFT】キーを押している間、録音されます。

マイクの音量について

マイクに向かってしゃべったときの声の大きさが、適正音量になっているか確認してください。

適正音量でない場合はマイク音量を調整する必要があります。



付属のヘッドセットマイクについて

AmiVoice® SP2 USB マイク付および、USB マイク付　アカデミック版に同梱されているマイクです。（Plantronics 社製「.Audio 628 US」）

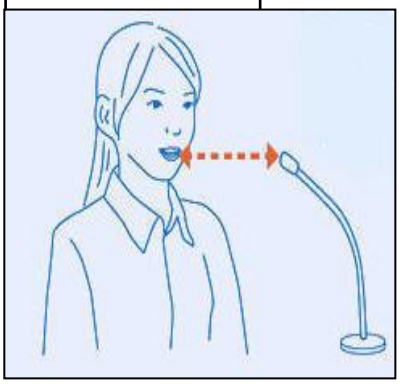
市販のマイクをお使いの場合はマイクに付属されている取扱説明書をご覧ください。

・音声データをデジタル信号に変換する処理を行う機能を内蔵しており、パソコン内部の電気ノイズの影響を受けにくく、よりクリアなサウンドでの音声認識を実現できます。USB ポートに接続することにより簡単にお使いいただけます。

市販マイクについて

AmiVoice® SP2 は、市販のマイクを使って音声入力することもできます。市販のマイクには、スタンド型やイヤホン型等多彩な種類やデザインがありますが、マイクの中には思ったように認識が得られない場合がありますのでご注意ください。

スタンド型マイク



マイク集音部分が口から遠くなってしまい、発話音声だけでなく周囲のノイズも拾いやすいため、思ったように認識が得られない場合があります。

耳かけ型マイク

マイク集音部分と口が比較的遠いものが多く、ノイズを拾いやすいため、思ったように認識が得られない場合があります。

耳かけ型マイク

マイクの先がチューブ型のヘッドセットマイクは、ノイズをカットしなくこもったような音質になってしまうため、思ったように認識が得られない場合があります。

SpeechMike Pro（型番：MCLFH3200）について

SpeechMike はオプションのマイクです。SpeechMike を使用する場合、インストール CD から「SpeechMike をインストール」を実行してください。

① マイク
ここに向かってしゃべります。
② 録音ボタン
マイクのON／OFFを切り替えます。
③ カーソル移動
⏩ カーソルを右に移動します。
⏯ 入力した声を再生します。
または再生を停止します
⏪ カーソルを左に移動します。
④ 選択ボタン
文字を選択します。
しゃべった直後では、直前に出た文字をすべて選択します。
⑤ 候補ボタン
音声入力結果の候補を選択します。
⑥ トラックボール
⑦ ファンクションボタン
F3 ボタンで入力結果をもう一度転送します。（F1～F3 ボタンは、好きな機能を設定できます）
※設定の「ボタン設定」で行うことができます。
⑧ スピーカー
ここから声が再生されます。
⑨ 右クリック
⑩ 左クリック
裏面 転送ボタン
変換した文字を転送します。

注意事項

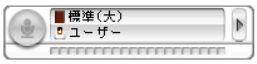
・専用マイクを片手に持って口をマイクに近づけてください。

・親指があごに付く距離（口とマイクの距離が 5cm 以内）で、お使いください。

・マイクと口の距離が離れすぎないように気と付けてください。マイクと口との距離が離れると、雑音が多く入ってしまし、正しく認識できません。適切なマイクと口の距離は、5cm 以内です。

AmiVoice バーについて

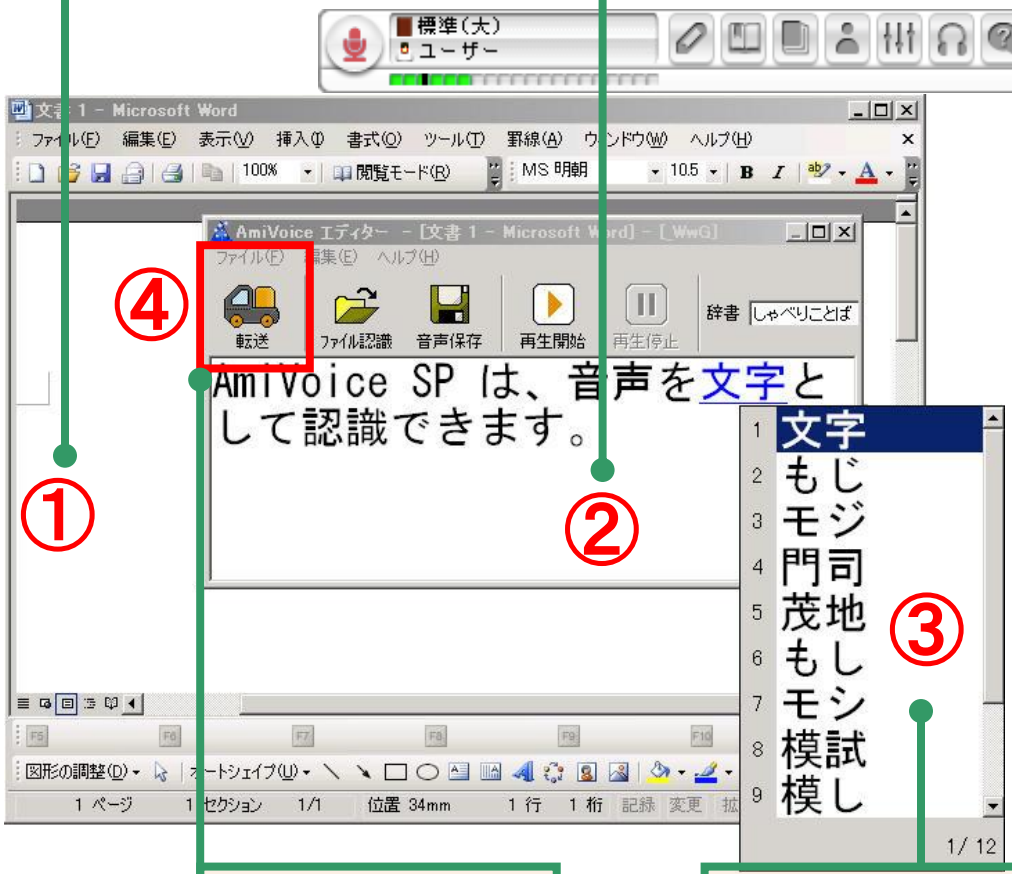
AmiVoice® SP を起動すると、「AmiVoice バー」というツールバーが表示されます。

1．マイクの状態	以下のようにマイクのON/OFFの状態が表示されます。 ：マイクOFF状態・・・音声入力ができない状態です。 ：マイクON状態 ・・・音声入力ができる状態です。 ：一時停止状態 ・・・「音声認識開始」コマンドのみ受け付ける状態です。
2．音量バー	音声が入力されている時に、音量が表示されます。  標準(大) ユーザー ：マイクOFF状態 標準(大) 佐藤 ：マイクON状態 うまく音声入力できない時は、適切な音量に設定されていないことが多いです。 適切な音量で入力されているかをチェックするようにしてください。 →マイク音量を確認する
3．各種アイコン	***AmiVoice SP*** の各機能を使うためのアイコンが配置されています。 初期設定では以下のアイコンが配置されています。 ：単語登録 ：ユーザー辞書ツール ：マスター辞書選択 ：ユーザー選択 ：マイク音量 ：音響学習 ：ヘルプ ：設定 AmiVoiceバーに表示するアイコンは「設定」の「アイコン」から追加・削除できます。

音声で文字を入力する方法

①アプリケーションソフト上で、入力したい場所をクリックしてから音声入力します。

②発話するとAmiVoiceエディターが起動します。
一旦ここに音声入力した結果が出ます。

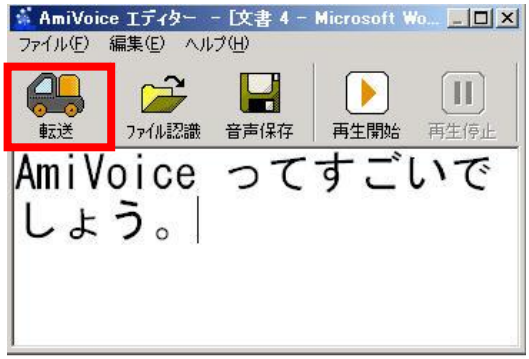


④アプリケーションソフトに転送します。

③カーソルを合わせると、入力結果の候補が表示されます。

転送方法について

①AmiVoice エディターの左上にある「転送」ボタンを押すと、アプリケーションに文字が転送されます。



②キーボードの「Ctrl」＋「Enter」を押しても転送できます。

③また、「もじをてんそう」としゃべっても転送できます。

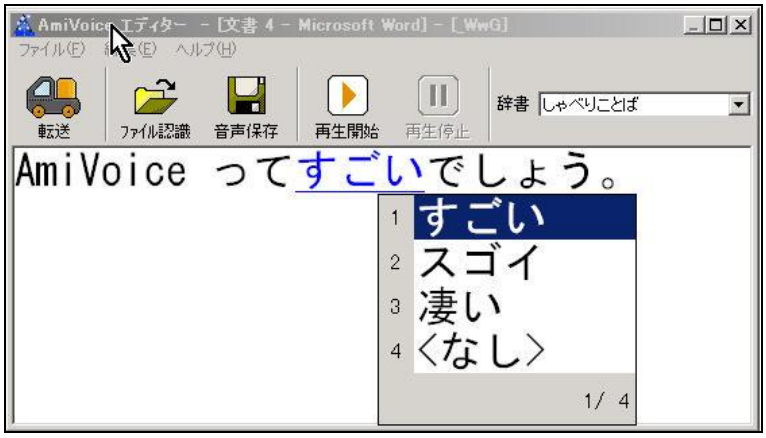
修正方法について

音声入力結果を修正する場合、AmiVoiceエディターの候補修正機能で、単語を選んで修正することができます。

①キーボードの【←】【→】カーソルキー、もしくは、マウスで修正したい単語にカーソルを合わせてください。

②入力結果の他の候補単語が表示されます。キーボードの【↑】【↓】カーソルキー、もしくは、マウスで単語を選択します。選択したい単語がない場合や消したい場合は＜なし＞を選択してください。

③候補単語を選んだら、カーソルを他の単語に移動することで確定されます。



音声認識結果を修正するには、
キーボード、またはマウスの操作が必要です。

ポイント

2～3回発話して認識しない場合、よく使うと思われる単語は単語登録、
そうでない場合は、キー入力してください。
キー入力した単語、文書を学習するためには、テキスト学習を活用ください。

入力モードについて

「エディターモード」と「直接入力モード」の 2 種類の入力モードがあります。

エディターモード

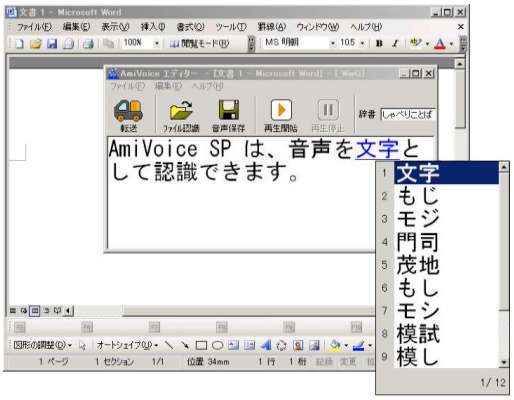
マイクでもキーボードでも入力ができます。

また、修正したい単語を選択して発話することで上書き修正もできます。いつでも修正ができるので、長文の編集に適しています。

①入力したい場所をクリックしてから音声入力します。

②カーソルを合わせると、入力結果の候補が表示されます。

③間違った可能性のある単語は赤く表示されます。



「直接入力モード」

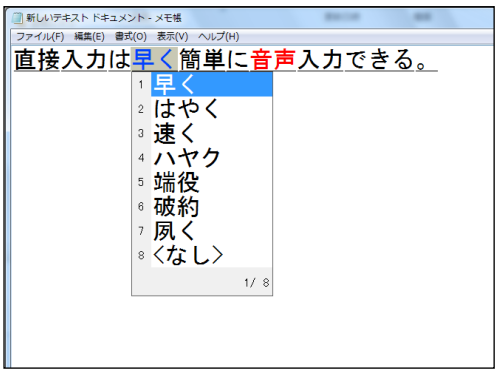
入力したい場所に直接音声入力します。

また、候補の選択もできます。

①入力したい場所に直接入力します。

②間違った可能性がある文字は、赤く表示されます。

③カーソルを合わせて、【↓】キーを押すと入力結果の候補が表示されます。



単語登録について

ユーザー辞書に単語を登録することができます。 音声入力しても変換されない単語は、登録を行うことで候補の中に 表示されるようになります。

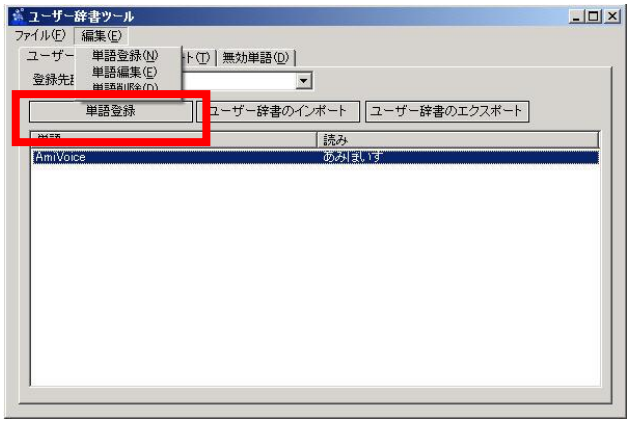
①単語を登録する

単語登録するには、AmiVoice バーの単語登録をクリックして、入力したい語句の「単語」と「読み（ひらがな）」を入力し、「登録」をクリックしてください。

②登録した単語の編集・削除をする

登録した単語を編集・削除をする場合は、AmiVoice バーの【ユーザー辞書ツール】から行います。

AmiVoice バーの【ユーザー辞書ツール】をクリックして「ユーザー辞書」を選択し、不要な登録した単語をクリックして編集・削除をしてください。



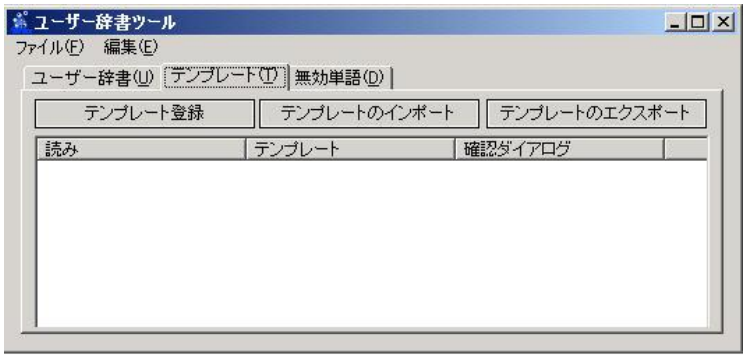
テンプレートについて

テンプレートとは、よく使う文章を登録し、音声によって入力できる機能です。

長い文章や、改行入りの定型文も登録できます。

①テンプレートを開く

「テンプレート」をクリック



②登録する

「読み」にはマイクで音声入力するときの読み方をひらがなで、「テンプレート」

には表示したい内容を登録してください。

音声コマンド一覧

AmiVoice エディター上で使用できる音声コマンド

記号系

読み	記号
まる	。
てん	、
かんま	,
ぴりおど	.
なかぐろ	・
すぺーす	（半角スペース）
ころん	:
かっこ	(
かっことじ	)
すらっしゅ	/

読み	記号
はいふん、まいなす	－
ぷらす、たす	＋
いこーる	＝
かける	×
から	～
くえすちょん、はてな	？
しゃーぷ	＃
あすたりすく	＊
こめじるし	※
やじるし	→

コマンド系

読み	機能
かいぎょー ここでかいぎょー	改行します
にぎょうーかいぎょー	改行を 2 つ挿入します
たぶ	タブを挿入します
いちもじさくじょ	カーソルの直前の 1 文字を削除します （1～99 までの数値が使えます）
いちもじもどる	カーソルを 1 文字戻します （1～99 までの数値が使えます）
いちもじすすむ	カーソルを 1 文字進めます （1～99 までの数値が使えます）
さいしょにもどる	文頭にカーソルを移動させます
さいごにすすむ	文末にカーソルを移動させます
すべてさくじょ	入力した文字をすべて削除します
てんそう もじをてんそう あぷりけーしょんへてんそう	AmiVoice エディターからアプリケーションへ文字を転送します

補助系

読み	機能
ひらがなのが	「が」が入力されます （「を」・「に」・「は」・「も」・「へ」・「で」・「と」・「や」でも同じことができます）

製品ラインナップ

音声認識ソフト ***AmiVoice® SP2*** USB マイク付

標準価格　24,800 円（税別）
JAN コード　458220 1960803

音声認識ソフト ***AmiVoice® SP2*** USB マイク無

標準価格　19,800 円（税別）
JAN コード　458220 1960810

本製品にマイクは含まれません。

音声認識ソフト ***AmiVoice® SP2*** USB マイク付　アカデミック版

標準価格　17,800 円（税別）
JAN コード　458220 1960827
小・中・高等学校、大学、各種専修学校などに在学中の学生・教職員の方、文部科学省が規定する教育機関に在籍の方のみご購入いただけます。

音声認識ソフト ***AmiVoice® SP2*** USB マイク無　アカデミック版

標準価格　13,800 円（税別）
JAN コード　458220 1960834
小・中・高等学校、大学、各種専修学校などに在学中の学生・教職員の方、文部科学省が規定する教育機関に在籍の方のみご購入いただけます。本製品にマイクは含まれません。

音声認識ソフト ***AmiVoice® SP2*** アップグレード版

標準価格　9,800 円（税別）
JAN コード　458220 1960841
本製品は、***AmiVoice® Es 2008***、および、***AmiVoice® SP*** を
お持ちの方へのアップグレード版です。
本製品にマイクは含まれません。

アカデミック版について

小学校、中学校、高等学校、大学、短大、大学院、専門学校、各種学校などに在学中の学生および教職員の方、文部科学省が規定する教育機関、学術研究機関に在籍する方のみご購入いただけます。

製品をご購入の際に、学生証または学校関係者である証明書をご提示ください。

アップグレード版について

本製品は、***AmiVoice® Es 2008***、および、***AmiVoice® SP*** をお持ちの方へのアップグレード版です。

ヘッドセットマイクは含まれません。

動作環境について

・OS： Windows® 8、Windows®7、Windows Vista®、Windows XP® SP2 以上の各日本語版

・必要な HDD 容量 ： 3GB 以上の空き容量

・CPU ： 1GHz 以上のプロセッサ（Intel ® Atom（TM）は 1.66GHZ 以上）

・メモリ ： 2GB 以上（Windows® XP SP2 は 1GB 以上）

・USB ： 1 ポート以上の空き（USB ヘッドセットマイク用）

・CD-ROM ドライブ ： インストール時に必要

・Media Player9 以上がインストールされていること

注） Windows 8®は、Modern UI にも対応しています。使用される際には、弊社 Web サイトより V2.04 モジュールをダウンロードしてください。

注） 64bit 版 Windows® OS 環境では、WOW64 サブシステム（32bit エミュレーター）上で動作します。

注） CPU Intel ® Atom （TM）を使用する場合、辞書につきまして標準（小）を選択ください。

注） Mac OS 環境下での動作保証はいたしておりません。

注） マイク付製品に同梱されるヘッドセットマイクは予告なく変更になる場合がございますので予めご了承ください。

Windows®、Windows XP®、Windows Vista®、Windows® 7、Windows®8 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

FAQ

Q：事前に声の登録は必要ありますか？

A：必要ありません。インストール後すぐにお使いいただけます。

Q：マイクは付属しますか？

A：マイク付/マイク無　2 種類のパッケージがあります。

Q：購入後のサポートはありますか？

A：ユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、サポート窓口を設けております。
日本人の専任のスタッフが電話またはメールにて対応いたします。

Q：どんなソフトに音声入力できますか？

A：Windows 上で動作するほとんどのアプリケーションソフトに対応しています。
電子メールソフト　：　Outlook、Outlook Express　など
ワープロソフト：　MS Word、一太郎、メモ帳、WordPad　など
表計算ソフト　：　MS Excel　など
データベース　：　ファイルメーカー　など

Q：句読点の自動入力機能はありますか？

A：あります。
しゃべっている内容や空白時間から判断して句読点を自動で挿入します。また、設定でこの機能の ON/OFF が可能です。

Q：音声で操作することはできますか？

A：「かいぎょう」「〇文字削除」「〇文字進む」「〇文字戻る」「最初に戻る」「最後に進む」「すべて削除」など操作が可能です。

Q：音声コマンドを独自に作成することはできますか？

A：可能です。
任意のキー入力、Ctrl キー、Shift キー、Atl キーなどと組み合わせて作成可能です（例　Ctrl　＋　C　などのショートカットキー）。また、外部アプリケーションプログラムの起動も可能です。

Q：自分が作成した文章を学習させることはできます？

A：可能です。

FAQ

Q:複数の PC で使用することはできますか？

A:1ライセンスで、複数の PC にインストールすることはできません。
ただし、1 台の PC 上で、複数のユーザーが本製品を使用することは可能です。
使用するユーザー毎に、設定や単語登録などの学習データを使い分けることが可能です。

Q:***AmiVoice® SP2*** と ***AmiVoice® Es 2008*** との関係は？

A:***AmiVoice® Es 2008*** の後継製品です。

Q:***AmiVoice® Es 2008*** からのアップグレードはありますか？

A:あります。
AmiVoice® SP2 アップグレード版
アップグレードを行う場合、インストールしたい PC にあらかじめ ***AmiVoice® Es 2008*** がインストールされている必要があります。
ヘッドセットマイクは同梱されておりません。

Q:***AmiVoice® Es 2008*** からアップグレードする際、登録した単語や学習データは引き継がれますか？

A:引き継がれます。
データ引継のために、特別な手順は必要ありません。***AmiVoice® Es 2008*** がインストールされているパソコンに ***AmiVoice® SP2*** アップグレード版をインストールするだけで、以前のユーザデータを引き継ぎご使用いただけます。

Q:アカデミック版はありますか？

A:あります。
AmiVoice® SP2 USB マイク付　アカデミック版
AmiVoice® SP2 USB マイク無　アカデミック版
小・中・高等学校、大学、各種専修学校などに在学中の学生・教職員の方、文部科学省が規定する教育機関に在籍の方のみご購入いただけます。

Q:通常版とアカデミック版の違いはありますか？

A:機能の差はありません。

Q:IME などの辞書は使えるのですか？

A:***AmiVoice® SP2*** は、独自の音声認識辞書データベースを搭載しており、IME などの辞書は使用しておりません。IME などに辞書登録されているものを認識したい場合、***AmiVoice® SP2*** に単語登録してください。

FAQ

Q：対応する IC レコーダーはどれですか？

A：以下の形式で音声データを保存できるものであれば、メーカー・機種は問いません。
（16KHz 以上を推奨）
■WAV ファイル
■Windows Media オーディオファイル（WMA、WMV、ASF）
■MP3
または、IC レコーダーにファイル形式変換ソフトなどが同梱されており、上記形式に変換できるものが対象です。

Q：IC レコーダーで録音した会議や講演会を認識できますか？

A：複数人による会議および講演会などで複数人の声が重なる、マイクの距離が遠い、雑音が含まれる、音楽がバックに流れる場合などは、***AmiVoice® SP2*** で文字起しすることができません。

個人の方が、メモ代わりに録音機器などに録音して、後で文字化する場面で活用する機能です。
＜注意事項＞
・録音する際には、録音機器の口述モードに設定して録音してください。
また、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけてください。
・口元とマイクの距離が 5cm 以内で録音した音声で、はっきりとした音声であることが条件です。
・複数人数の会議、講演会、およびインタビューなどで、マイクの距離が遠い場合、認識することができません。
※本製品を使って、録音した音声を聞きながら復唱することで、簡単に文字化することができます。

Q：同梱されているマイク以外でも使えますか？

A：ご使用いただけます。
Windows 上で起動するものであればご使用になれますが、マイクによっては ***AmiVoice® SP2*** 側で音量設定が必要な場合があります。
また、パソコンに複数のマイクが接続されている場合、***AmiVoice® SP2*** の設定画面から使用したいマイクを選択する必要があります。
■USB マイク、または USB アダプターをおすすめしています。
理由は、音声データをデジタル信号に変換する処理を行う機能を内蔵しており、パソコン内部の電気ノイズの影響を受けにくく、よりクリアなサウンドでの音声認識を実現できます。
■スタンドマイク
マイク集音部分が口から遠くなってしまい、発話音声だけでなく周囲のノイズも拾いやすいため、思ったように認識が得られない場合があります。
■耳かけ型マイク
マイク集音部分と口が比較的遠いものが多く、ノイズを拾いやすいため、思ったように認識が得られない場合があります。

FAQ

Q：Bluetooth マイクは使用可能ですか？ また、どの機種なら使用できますか？

A：弊社内では、下記機種にて動作検証をおこないました。
メーカー名：Plantronics
製品名：Savi Go　WG100/B

Q：音声入力のコツは？

A：以下3点にお気をつけください。
■発音は自然に！
普段話しているように、自然にしゃべってください。一語一語区切って発話したり、不自然にゆっくり話したりすると、逆にうまく入力できません。
■単語よりも文章で！
単語ごとに区切ってするより、文章で話すと認識されやすくなります。
また、ひとつの単語の途中で区切って発話してしまうと、誤変換の原因になります。
■口元とマイクの距離は 5cm 以内
口元とマイクの距離が、5cm 以内でお話しください。

Q：対応言語は？

A：日本語のみです。
英単語を登録する場合、「よみ」をつけて登録してください。
日本語音声認識システムですので、例えば L と R の区別や TH の発音は登録されておりません。
しかくネイティブな発音にせず、日本語でお読み頂くと認識精度が高くなります。

Q：読み上げ機能はありますか？

A：読み上げ機能はありません。

Q：記号は出るのですか？

A：可能です。
「まる」、「てん」、「かんま」、「ぴりおど」、「なかぐろ」、「ころん」、「かっことじる」、「かっことじ」、「すらっしゅ」など

Q：方言は認識できますか？

A：認識できません。標準語でしゃべってください。方言を認識したい場合、単語登録する必要があります。